

平成23年度
北海道大学大学院理学院
修士（博士前期）課程
第二次

自然史科学専攻
科学コミュニケーション講座

入 学 試 験
(専 門)

問 題

11:10～12:40

- 問題は1ページ目にあります。
- 解答用紙の表紙に受験番号と氏名を忘れずに書いてください。
- 解答用紙2枚にはそれぞれ選択した問題番号を記入してください。
- 各問題の出典となっている文献を試験中に参照することはできません。
- 解答用紙一式をばらばらにせずに提出してください。

問題 以下の8題のうちから2題を選びそれぞれ800字~1200字程度で解答しなさい。

テーマ「科学史」からの出題

1. 科学史を学ぶ意義について、「内的歴史」と「外的歴史」という二つの概念を対比させながら、あなたの考えを述べなさい。

テーマ「科学技術コミュニケーション・科学技術社会論」からの出題

2. 人文・社会科学は、科学技術にどのように関与することができるだろうか。具体例を挙げながら、あなたの考えを述べなさい。

テーマ「科学哲学」からの出題

3. B.C.van Fraassenのconstructive empiricismはどのような主張か、その理解を「観察可能」「観察不可能」「経験的に妥当」「実在」「反実在」という言葉を用いて述べなさい。

テーマ「科学技術とリスク」からの出題

4. 今日、欧州委員会などで積極的に取り上げられている「予防原則」(precautionary principle)と、従来からある「未然防止原則」(prevention principle)はどのように違うか。例を用いて説明しなさい。

テーマ「博物館学」からの出題

5. 『二十世紀博物館』の著者が「学術文化財」として定義した対象を、大学博物館で保存管理する意義を、大学博物館の使命と関連づけて説明しなさい。

テーマ「博物館の使命」からの出題

6. 先住民(族)とは、近世植民地地帯が出現したためだけに定義されています。では植民と移民はどのように異なるのか述べてください。

テーマ「高等教育」からの出題

7. エラスムス計画の概要を述べ、ヨーロッパの小規模国家の高等教育政策との関連を説明しなさい。

テーマ「科学教育」からの出題

8. なぜ社会構成主義が従来の科学における伝統とそれに対する批判との対立を乗り越えられる可能性をもっているのかを説明しなさい。

平成23年度
北海道大学大学院理学院
修士（博士前期）課程
第二次

自然史科学専攻
科学コミュニケーション講座

入 学 試 験
(専 門)

解 答 用 紙

受験番号	
氏 名	

- 解答用紙は1ページから2ページまでの2ページあります。
- 各解答用紙に選択した問題番号を記入してください。
- 解答用紙はばらばらにせずに提出してください。

問題番号()

A large, empty rounded rectangular box with a thin black border, intended for the student to write their answer to the question.

問題番号()

A large, empty rounded rectangular box with a thin black border, intended for the student to write their answer to the problem.